

## 人事異動がありました！

3/19の新聞にも掲載されましたが、本年度は、海田西小学校からは、8名の先生が異動になりました。

【役職定年】	校長	吉岡 康行	(海田東小学校へ：教諭として)
【退任】	教諭	瀬戸口純子	
	介助員	岡川みどり	
【離任】	教頭	谷口ちひろ	(海田東小学校へ)
	教諭	大橋 貴子	(海田東小学校へ)
	教諭	砂山 和美	(海田東小学校へ)
	教諭	中川 雄喜	(広島県教育委員会へ)
	養護教諭	大濱 幸美	(海田小学校へ)

私を含め、多くの先生方が異動します。3/25(月)13:45～「離任式」を行います。子供たちと別れるのは非常に寂しいですが、心に残る別れの式になればと考えております。保護者の皆様へも、これまでの御理解・御協力に感謝申し上げます。本当にお世話になりました。

## ニュース5・7・5 (最終)

海田西小学校は、NIE教育(新聞を教育に取り込む学習)に取り組んでいます。学校では、毎週水曜日に、「NIEタイム」と称して、各学年の実態に合わせて、新聞のニュースを題材にして感想を書いたり、自分の意見をまとめたりしています。1週間にわずか15分間の取組ですが、毎週取り組み、また6年間積み上げることは、少しずつですが大きな力になっています。毎年6年生を対象に行われる「全国学力・学習状況調査」において、本年度、海田西小学校の国語科は、全国平均「+17点」でした。学校としては、なかなか自慢したり、アピールしたりしにくく、大きく取り上げられませんが、このくらいの得点は、広島県内でも、全国レベルでもトップクラスです。この理由は、ニュースに親しむ取組以外にも、先生方が、給食前にその時の学習が十分理解できていない子に、「給食前学習」として、学年ごとに毎日勉強会を行っていることも効果が出ています。私も、こういった取組の一助となればと思い、季節や行事を思い浮かべながら、言葉を考え、5・7・5の17文字に思いをまとめる、「ニュース5・7・5」を行ってきました。校長室の前に郵便箱みたいなボックスを置き、子供たちから集まった作品は、この校長だよりに載せ、掲載したすべての作品を中国新聞に送り続けました。3/17(日)には、卒業した6年生の中村さんの作品、

仲間との 過ごした日々は 忘れない 6年 なかむら 中村 かりん 夏凜

が、中国新聞に掲載されました。私は、海田西小学校の児童の作品が、新聞に掲載されると、自分の子供の作品が掲載されたかのように、うれしいです。校長だよりや中国新聞に掲載された子が、また、掲載されたいと頑張ってくれれば、なお、うれしいです。今後は、家庭からでも中国新聞に応募できますので、私の代わりに、ぜひ、保護者の皆さんが、応募してあ

げてください。よろしくお願いいたします。

さて、前回から本日まで、投稿をしてくれた、15句の中から、最後の掲載をいたします。これまで、「ニュース5・7・5」に応募してくれた子供たち、お読みいただいた保護者の皆様すべてに、心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

- |         |          |        |    |                    |                    |
|---------|----------|--------|----|--------------------|--------------------|
| ○ おおたにの | グローブつかって | やきゅうする | 1年 | 城田 <sup>しろだ</sup>  | 武尊 <sup>たける</sup>  |
| ○ ハミガキは | きれいになるよ  | ありがとう  | 1年 | 板野 <sup>いたの</sup>  | 可奈永 <sup>かなえ</sup> |
| ○ サクラがね | さいたらわたし  | 2年生    | 1年 | 谷崎 <sup>たにざき</sup> | 凜香 <sup>りんか</sup>  |
| ○ イチゴがり | 行ってよかった  | あまかった  | 4年 | 田上 <sup>たうえ</sup>  | 未来 <sup>みらい</sup>  |
| ○ 6年に   | 感しゃの気持ち  | 伝えよう   | 4年 | 長島 <sup>ながしま</sup> | 美来 <sup>みく</sup>   |
- ※ 以上の作品は、中国新聞に応募します。掲載されますように！

## 校長の真面目な子育て日記④3

3年前、校長として赴任し、コロナ禍の中、保護者とお話する機会がほとんどなく、何とか校長としての考えやお伝えしたいことをお知らせする方法はないかと考え、この「今日のみむらむ」や「校長の真面目な子育て日記」を発行させていただきました。なかなか保護者の方と接する機会が少ないので、読んでいただいているのかな？どうなのかな？と手ごたえは、ほとんどない中、書き続けてきました。しかし、たまにお会いする保護者の中に「楽しみに読んでいます」とか「参考にしています」など、お声を届けてくださる方がおられました。これまで、お読みいただき、ありがとうございました。私も、一日の仕事が終わって、それから作成しますので、本年度は、いろいろ大変で、発行部数がガタ落ちでしたが、それでも読んでくださる方がおられるからと、我が家の恥ずかしいことも交えて、発行させていただきました。最初のころに書かせていただきましたが、いくら小学校の校長先生といって偉そうにしても（偉そうにしているつもりはないのですが）、やっぱり子育てには悩みもあるし、家庭内では夫婦で意見が食い違いになることもあります。家族みんなが仲良く、言い争いもなく、楽しい毎日を送るのは理想ですが、現実はそんなに甘くありませんね。どこの家庭でも、言い合いや意見の食い違いはあるものです。その原因は、「子育て」によるものが多いと思います。子供の成長は、他の子供や家庭と比べてもどうにもなりません。とかく、他の家庭の子供がよく見えることが多いです。我が家は、アパートなのですが、同じアパートに住む中学校の1学年上の女の子が、それはそれは、よく努力をし、勉強も頑張り、スポーツもできる申し分のない子なのです。こうやって皆さんに「人と比べないでください！」と言っておきながら、つつい比べるような言動をしてしまい、娘に「ツン」とされて、反省をする毎日です。中学生になったのですから、もう気をつけないといけませんね。そのくせに、よく妻には「気になることや注意したいことがあっても、10個のうち、1個でも我慢して、注意することは減らそう」と偉そうに話しています。最近では、小学校の中学年くらいから、反抗期に入る子も多いです。気になることをぐっと我慢する、親としての忍耐力が、鍛えられる時期ですね。おそらく高校生くらいまでは続くでしょう。でも、子供の長い人生で、7~8年間くらいです。一歩引いて、子供の様子を見られるようになるのが、理想ですね。我が家のツンデレ娘も、4月からは中学2年に進級します。皆さんのお子さんも1つ上の学年に進級しますね。子供は、周りの影響でどんどん良くも悪くも成長していきます。同じ注意の仕方では、聞かなくなります。ぜひ、その子に合わせた注意を考えていきたいものです。親修業は、当分続きます！！